

平成20年度 教職10年目研修
事後アンケート集計結果

平成22年 3 月

栃木県総合教育センター

1 目的

平成20年度教職10年目研修が終了し一定期間を経過した後に、研修成果を調査・分析することにより、研修内容の充実を図る。

2 対象

平成20年度教職10年目研修（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）の研修教員と勤務校の校長。ただし、宇都宮大学教育学部附属小・中・特別支援学校の研修教員は除く。

○小学校、中学校 校長 69名、研修教員 75名

○高等学校、特別支援学校 校長 50名、研修教員 92名

3 実施時期

平成21年6月～10月

4 内容

【集計結果の概要】

【アンケート結果 小・中学校】

【アンケート結果 高等学校・特別支援学校】

【資料】

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート 様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート 様式Ⅱ（研修教員用）

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート 様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート 様式Ⅱ（研修教員用）

【集計結果の概要】

はじめに

教職10年目研修は、総合教育センター等における研修と校内等における研修に大別されている。前者には、学習指導、児童・生徒指導、学級経営等の研修、社会体験等研修、異校種体験研修、選択研修などがあり、後者には、公開授業や教材研究等を通じた研修、課題研究、児童・生徒指導の実践研修などが含まれる。

平成20年度教職10年目研修の終了後、一定期間を経過した後の研修教員の学校現場における状況を、本アンケートで調査・分析した結果、以下のことが確認できた。

1 研修教員は、研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上した。

学習指導力、児童・生徒指導力、学級経営力のいずれも、「かなり向上した」あるいは「ある程度向上した」という回答が、校長、研修教員ともに8割を超えている。その他、「地域や他校との連携を深め、教育効果を上げた」、「これまでの取組を振り返り、新たな目標をもって校務に当たれるようになった」という内容の回答が見られる。

2 研修終了時の研修教員についての評価を、その後の指導や研修に活用し、効果があった。

研修終了時の評価をその後の指導や研修に、「十分に活用した」あるいは「ある程度活用した」という回答が9割を超えている。活用したことで、研修教員の意欲や自覚が高まったとする回答が多い。特に効果を高めるために工夫した点としては、教員との対話を通じて、校内の諸課題について意見交換に努めたことなどが挙げられている。

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対しても効果や影響があった。

教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響が、「かなりあった」あるいは「ある程度あった」という回答が、約9割を占める。効果や影響の内容としては、「教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された」、「公開授業や授業研究会等を通して多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた」とする回答が多い。

4 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに研修終了後も自主研修に取り組んでいる。

研修終了後も自主研修に「積極的に取り組んでいる」あるいは「ある程度取り組んでいる」という回答（研修教員）が小・中学校で9割以上、高等学校・特別支援学校で約8割を占める。自主研修の分野としては、学習指導が最も多い。具体的には、「課題研究の内容をさらに追加変更を行いながら自主研修をしている」、「教科指導の研修会に参加している」などの回答が見られる。

5 平成20年度の校内研修において、有効だった研修

校長、研修教員ともに、「教科（学習）指導に関する研修」、「公開授業と授業研究会」、「児童・生徒指導に関する研修」「課題研究」が有効だったとする回答が多い。特に工夫した点としては、「授業研究会の充実を目指し、グループ協議と全体会で成果と課題の共有化を図った」、「校長が講師となり新学習指導要領と教育課程の見直しについて研修を行った」などの回答が見られる。

6 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立っている。

総合教育センター等におけるどの研修に関しても、「かなり役立っている」あるいは「ある程度役立っている」という回答（研修教員）が9割を超えている。項目別にみると、学習指導に関する研修

の項目で「かなり役立っている」とする回答の割合が高い。また、小・中学校では、各教育事務所における道徳教育に関する研修が「かなり役立っている」とする回答の割合が高い。

7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等

校長、研修教員ともに、引き続き学習指導や児童・生徒指導に関する研修の更なる充実を希望する回答が多い。また、校長の回答の中には、中堅教員としての学校経営への参画、教職員のメンタルヘルスに関する研修をあげているものが複数見られる。小・中学校の研修教員からは、小学校外国語活動や情報機器の活用に関する研修を希望する回答が複数見られる。今後の研修を企画する際の参考としたい。

おわりに

アンケートから、多くの研修教員が本研修の成果を指導力向上に結びつけているとともに、研修後も意欲的に自主研修に取り組んでいることがうかがえる。また、本研修が、研修教員だけでなく、それぞれの学校の研修教員以外の教員にもよい効果・影響を与えていると言える。

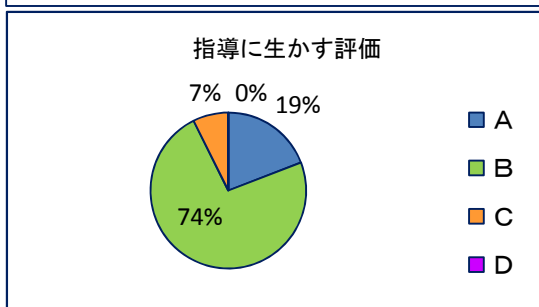
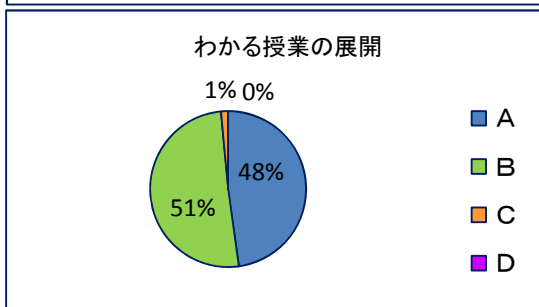
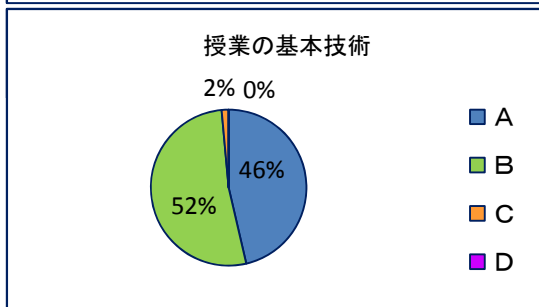
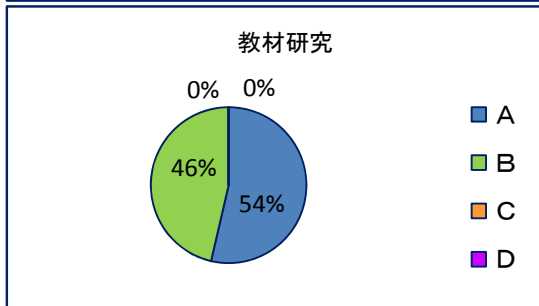
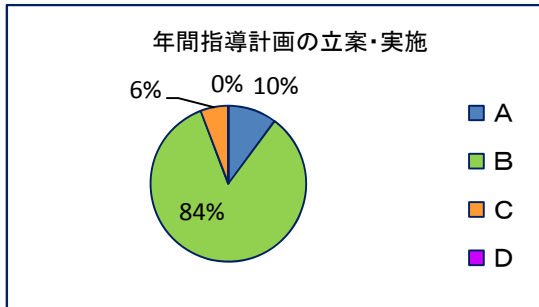
【アンケート結果 小・中学校】

1-1 研修教員が研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上したか。
 (回答者：校長、研修教員)

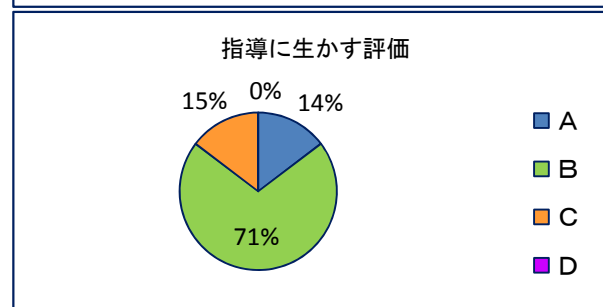
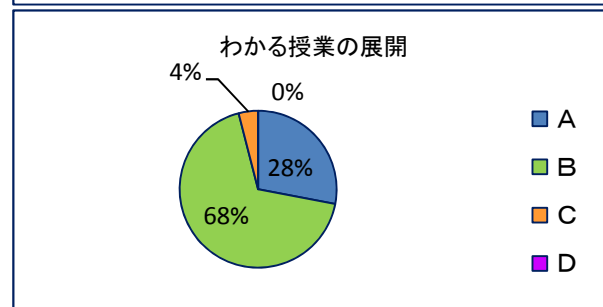
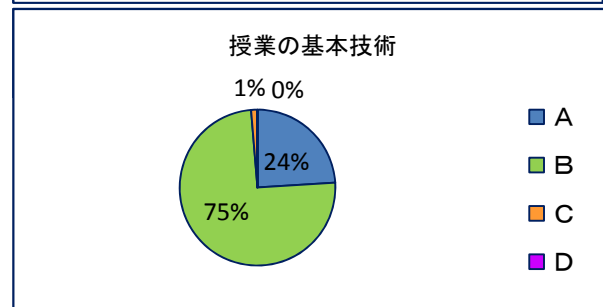
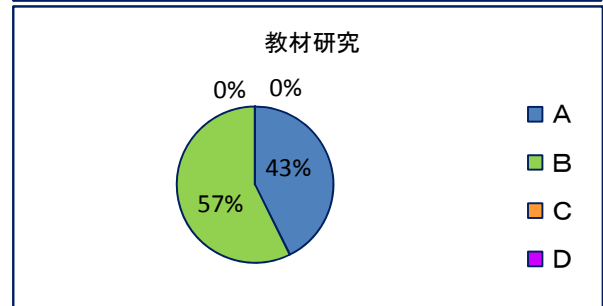
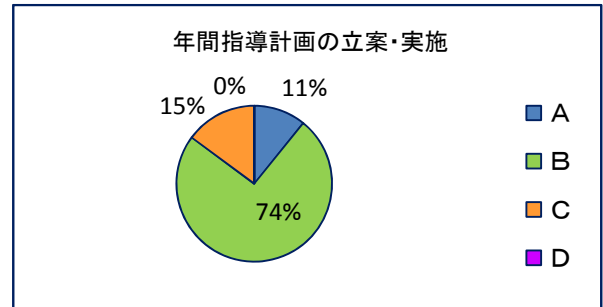
■ A かなり向上した ■ B ある程度向上した ■ C あまり向上していない ■ D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。

【校長】

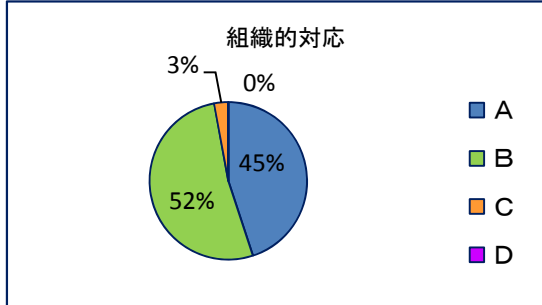
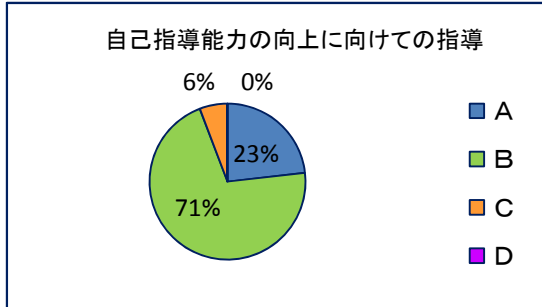
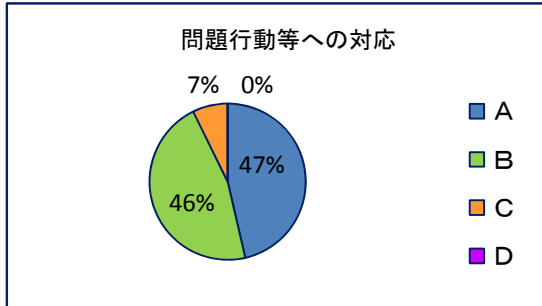
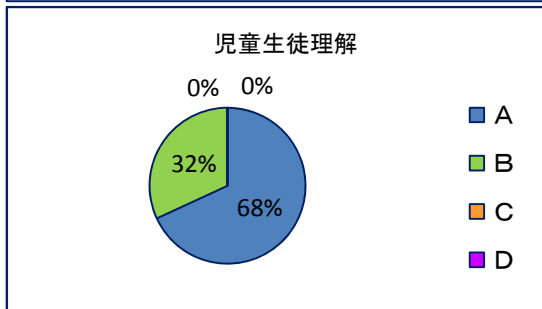
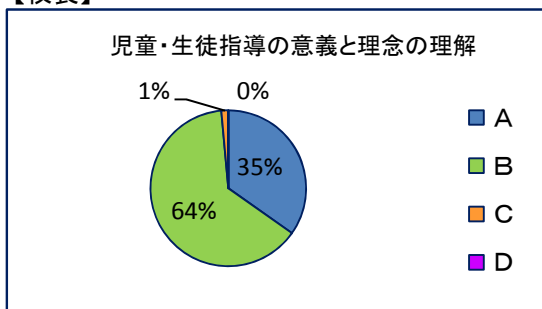


【研修教員】

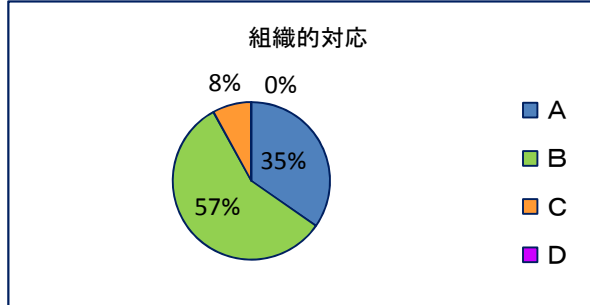
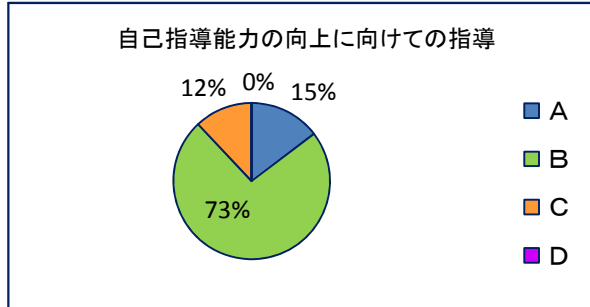
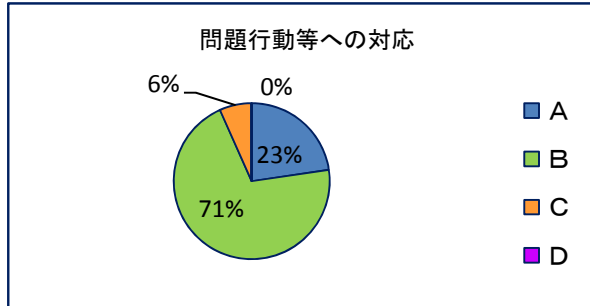
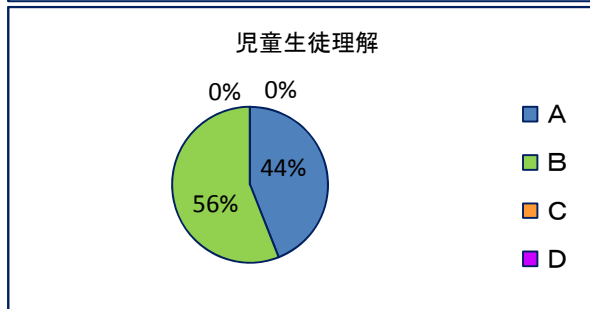
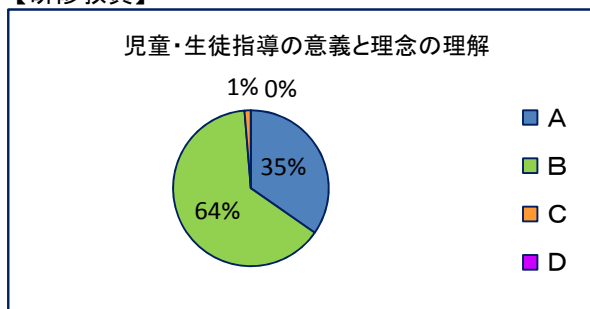


イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。

【校長】

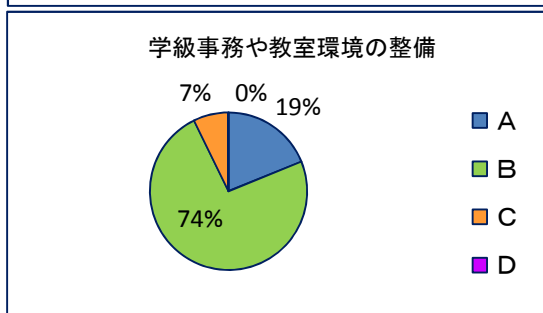
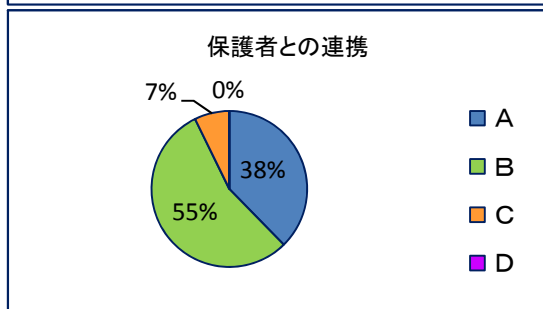
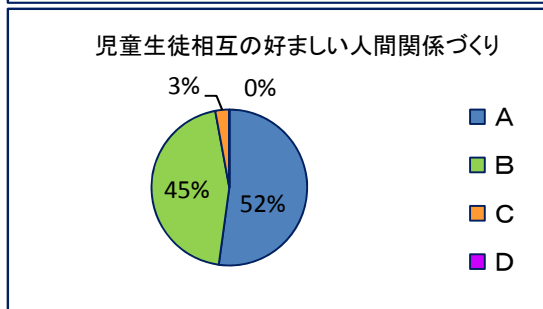
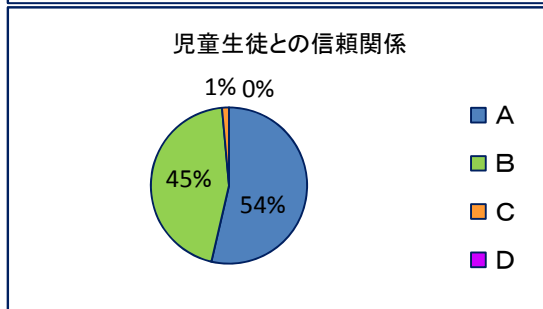
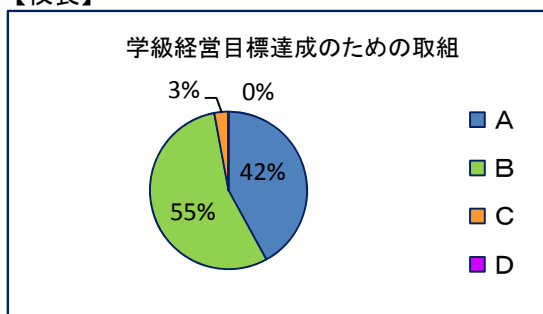


【研修教員】

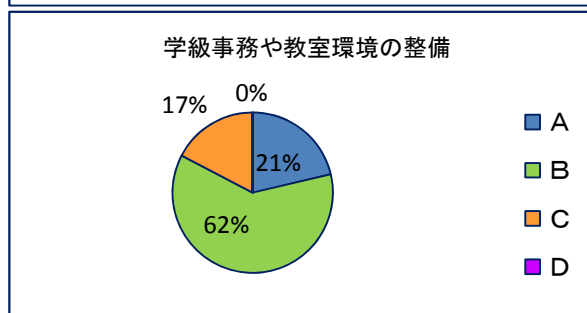
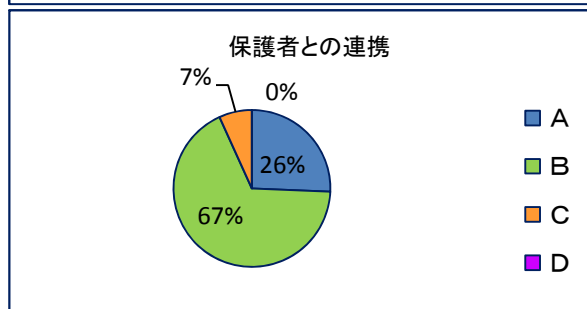
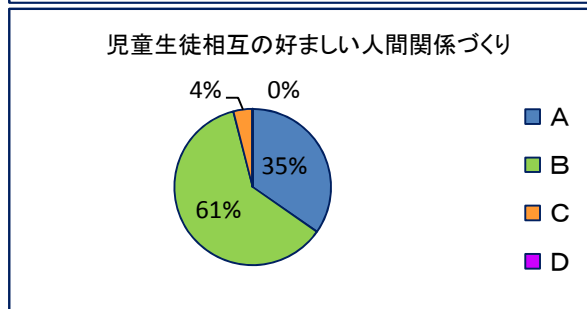
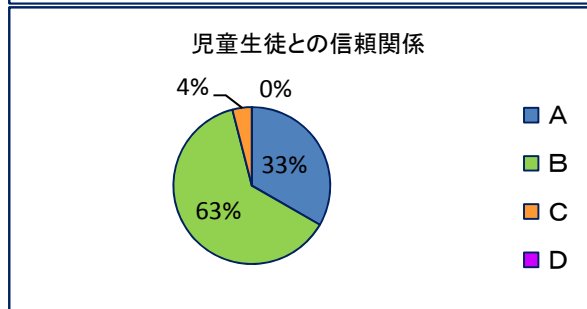
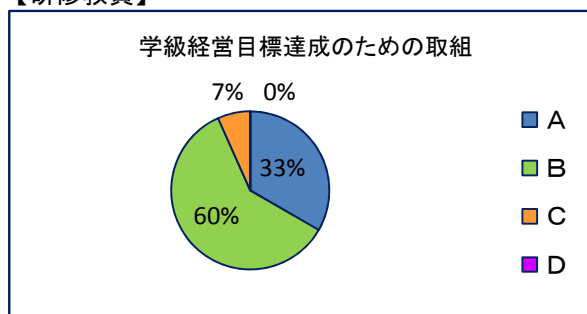


ウ 研修成果を生かし、学級経営力が向上したか。

【校長】



【研修教員】



1-2 ア～ウの項目以外のことについての主な記述内容

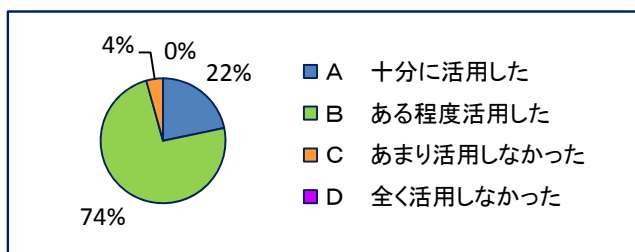
【校長】

- ・今年度は体育実技指導における中央研修の機会も得、その研修成果の活用のため、本校のみならず地区の先生たちに伝達するといった意欲の向上が見られ、頼もしく思っている。
- ・地域との連携、他校との連携を深め、児童の学力向上に寄与した
- ・校務分掌（教科書関係、褒賞）にこれまで以上に責任をもって取り組んでいる。
- ・学年をこえた生徒指導・支援ができています。
- ・現在生徒指導主事のため学級担任ではないが、よく担任を補佐している。

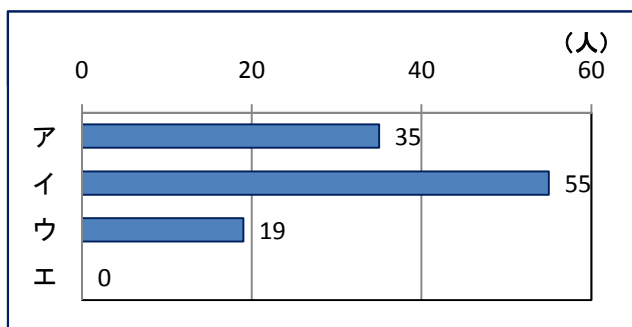
【研修教員】

- ・目標に基づき、全体を見通して授業や学級経営を進める力がつけられた。
- ・一人の社会人として、自分に課せられた責任と自分に期待されるものとは何であるかについてじっくりと振り返ることができた。
- ・10年目研修を受けたことにより、今までの自分を振り返り、今後の取組に向けての意欲向上につながったと思っている。初任から10年目まで取り組み方の甘さに反省することが多かった。

2-1 研修後評価をその後の指導や研修に活用したか。（回答者：校長）



2-2 活用したことでどんな効果があったか。（複数回答）（回答者：校長）



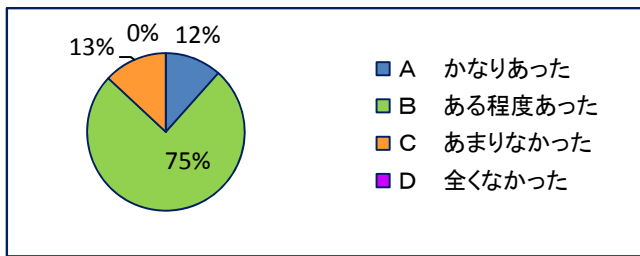
- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
- イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
- ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- エ その他

2-3 効果を高めるために特に工夫した点。（回答者：校長）

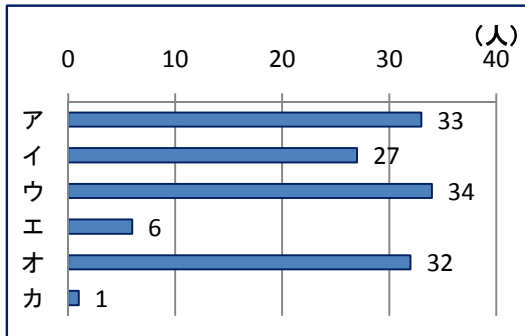
【主な記述内容】

- ・10年目研修を本人だけの研修にとらえず、先輩教員の公開授業や学校課題の推進も踏まえて、学校全体の意識の高揚にも有効と考える。
- ・個人面談をくり返し実施
- ・校内での研究授業の実施（複数回）
- ・評価の観点を活用して具体的に指導した。

3-1 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響があったか。
 (回答者：校長)



3-2 どんな効果や影響があったか。(複数回答) (回答者：校長)

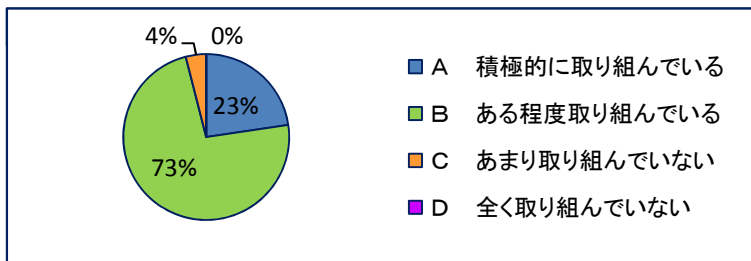


- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
- イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
- ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
- エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
- オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
- カ その他

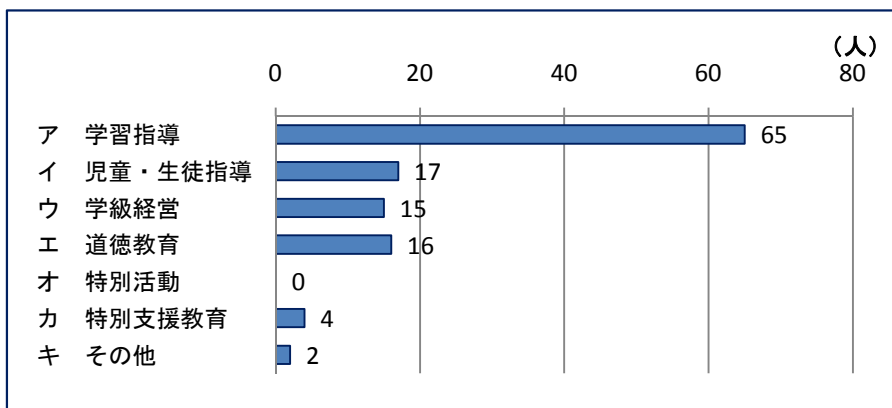
(「カ その他」の主な記述内容)

- ・ 研修教員の留守中、校務分掌を分担することで、教員同士の協働体制、意欲化に繋がった

4-1 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいるか。
 (回答者：研修教員)



4-2 どんな研修に取り組んでいるか。(複数回答) (回答者：研修教員)



(「キ その他」の主な記述内容) 教育法規、人権教育

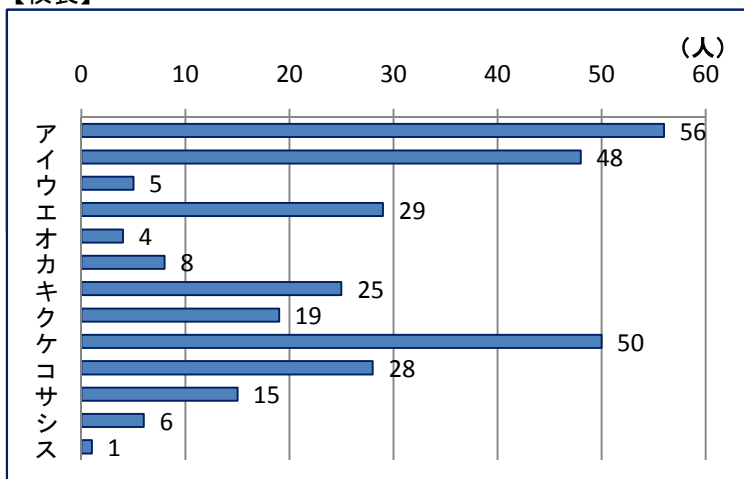
4-3 具体的にどのように進めているか。(回答者:研修教員)

【主な記述内容】

- ・ 少人数学級の良さを生かしたり、体験を重視した活動を多く取り入れ表現させたりすることを積極的に行っている。
- ・ 社会科における地域教材の収集、教具の作成
- ・ 月2程度程度教科の自主研修に参加している。その他必要に応じて土日開放講座等参加している。
- ・ 支援を要する児童への指導を関係機関や保護者と連携して支援指導を進めながら、専門書を読んだり詳しい先生からのお話を伺ったりして自主研修をしている。
- ・ 算数的活動を取り入れた授業展開の工夫、思考力・表現力を高めるための取組
- ・ 学級にADHDの児童がおり、保護者にその日の様子を伝えるために「ミニノート」を活用し連携を図っている。また、教育センターでの配慮を要する児童に対する研修などに参加し、指導に生かしている。
- ・ 校内研修担当、学習指導主任として、教科の枠を越えて、わかる授業の展開をめざし、ワークショップを行っている。
- ・ 教材研究を通し、同教科、同学年担当の先生方にご指導いただきながら進めている。また、特別支援教育については、講演会や研修会に参加し、理解と指導力の向上に努めている。
- ・ 教科指導の研修会に積極的に参加している。
- ・ 自主学习や生活ノートの提出を毎日行うことで、生徒の状況を理解するよう努めている。
- ・ 生徒指導では、現在の自分の指導や方針について、他校の取組や先行研究等を学び参考にしている。

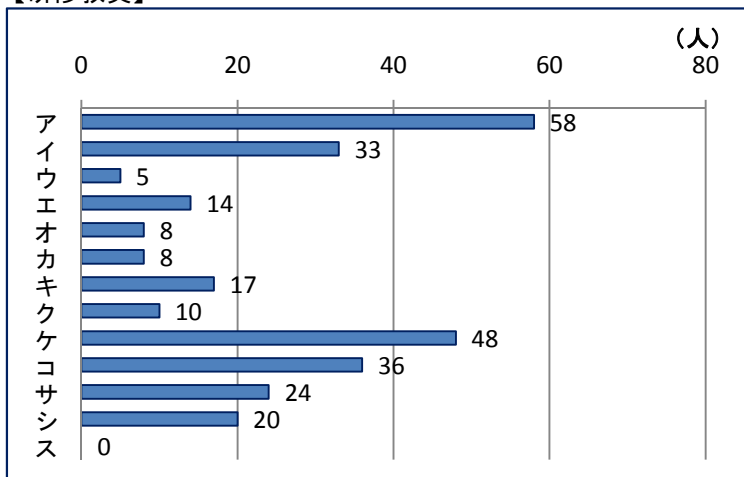
5-1 平成20年度の校内研修では、どのような研修が有効だったか。(複数回答)
(回答者:校長、研修教員)

【校長】



- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

【研修教員】



- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

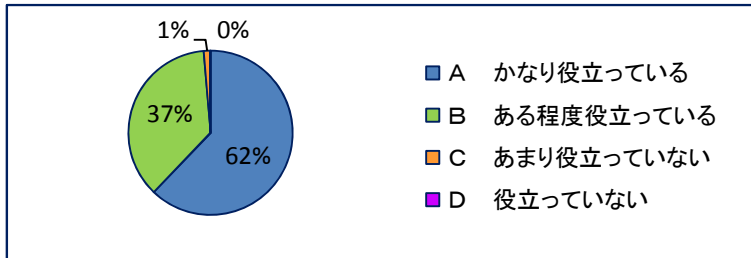
5-2 特に工夫した点。(回答者：校長)

【主な記述内容】

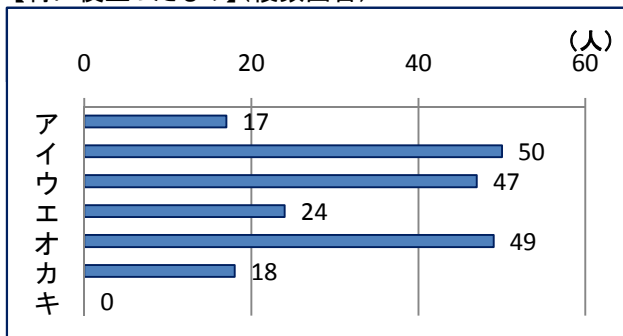
- ・教科指導において、自分の研究課題を明確にして、1年間取組ませた。また、研究授業を通して、一層研修が深まった。
- ・現職教育と合わせて実施し、他の教員の研修にも役立てるように計画した。
- ・特別支援教育に関する研修では、巡回相談で訪問された先生方との話し合いに参加した。
- ・校内研修の活性化を図った。授業研究会の充実を目指し、グループ別で協議した後、全体会を行い、成果と課題の共有化を図った。
- ・特に本校は学校課題で道徳を取り上げている。10年目研修の本人の道徳研修に関しては学校全体で取り上げ、職員一人一人にとっても研修が深まったと思われる。
- ・話し方、発問の工夫、板書の仕方、学習のねらいの提示など授業を実施する上での基本技術を再度授業研究会を通して点検させた。
- ・児童・生徒指導、教育相談に関する研修について、事例研究を多く取り入れたことで、個々の生徒に応じた見立てや指導のあり方を学ぶことができた。

6 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立ったか。(回答者：研修教員)

(1) 学習指導に関する研修

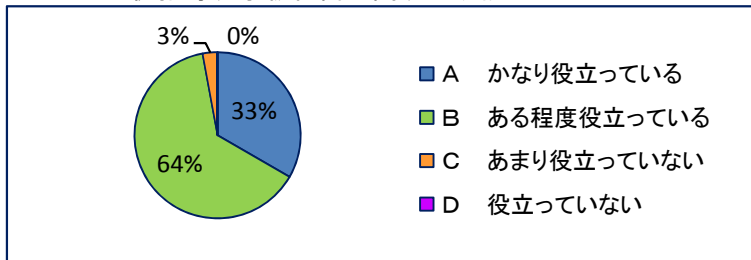


【特に役立ったもの】(複数回答)

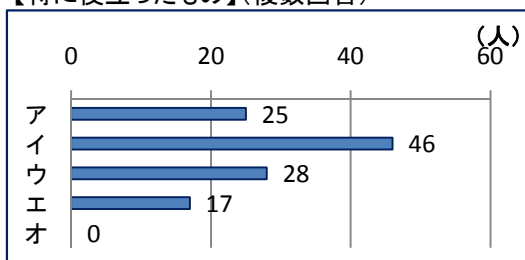


- ア 講話「今、求められる学習指導の在り方」
- イ 教科別分科会
- ウ 公開授業A、授業研究会
- エ ビデオによる授業研究
- オ 課題研究
- カ 児童・生徒等による授業評価
- キ その他

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修

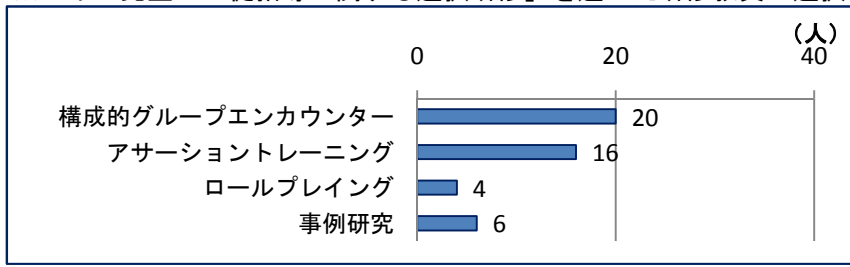


【特に役立ったもの】(複数回答)

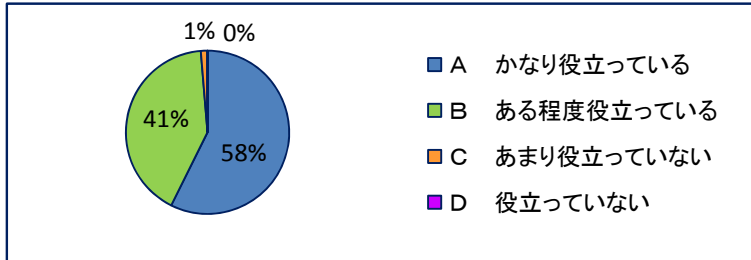


- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 児童・生徒指導に関する選択研修
- ウ 実践発表「私の進めた学級経営～望ましい集団活動を通して～」
- エ 地域における児童・生徒指導の在り方
- オ その他

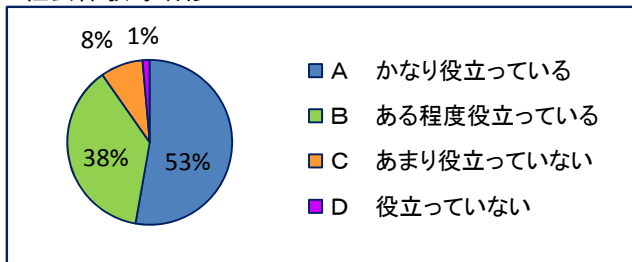
※「イ 児童・生徒指導に関する選択研修」を選んだ研修教員の選択したコース



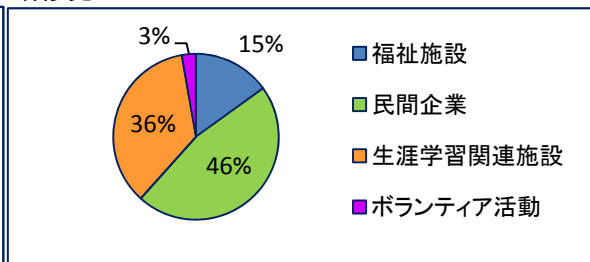
(3) 道徳教育に関する研修



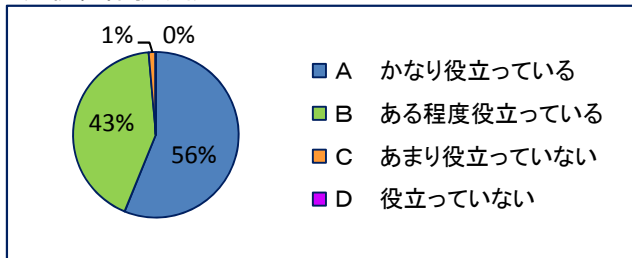
(4) 社会体験等研修



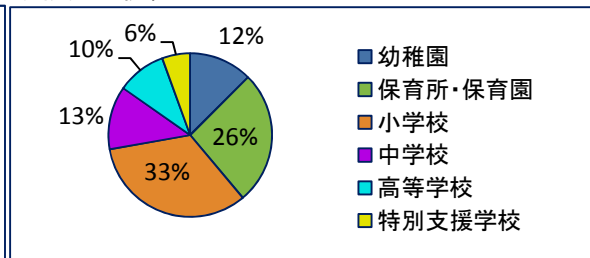
研修先



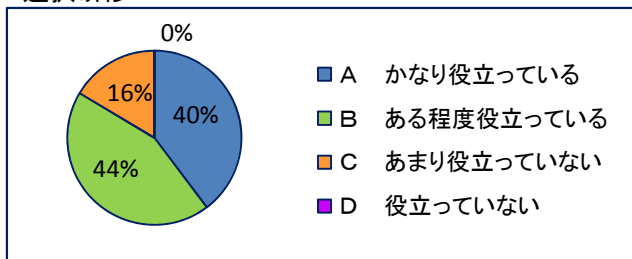
(5) 異校種体験研修



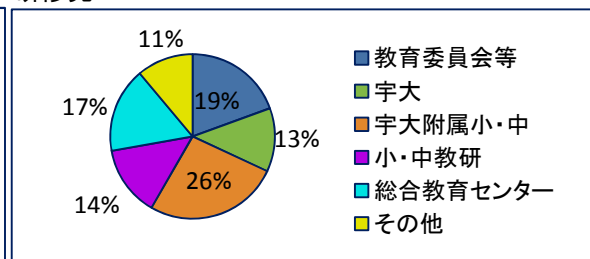
研修先の校種



(6) 選択研修



研修先



7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等。（主な記述内容）
（回答者：校長、研修教員）

【校長】

- ・ 通常学級における特別支援教育（事例研究）
- ・ 保護者や地域社会への対応
- ・ 特別支援教育に関する研修（発達障害をかかえた子どもたちへの対応のしかた、校内支援のあり方、親への対応などにかかわる研修）
- ・ 本県の文化財理解
- ・ 中堅教員としての学校経営への参画
- ・ 新学習指導要領の趣旨をふまえた総合的な学習の時間や道徳教育におけるコーディネーターとしての在り方、指導の実際についての研修
- ・ 小中連携を更に推進するために、教員としての資質・能力の向上をめざした研修
- ・ 教育的情熱や実践力を現場で遂行しよう、実践してみようとなるような啓発的研修

【研修教員】

- ・ 対応の難しい保護者に実際にどう対応するかの実践研修
- ・ 初めて複式学級の担任になったが、そのような教員は自分しかおらず、困ったことや不安などをなかなか相談できなかった。このような場合の細かなサポート体制があるとよいと思った。
- ・ 異校種体験研修は視野が広がり、自らの見識を深めることができた。他の校種を参観する機会もあるとさらに見識が深まり、系統性や関連を意識した生徒との接し方ができると思う。
- ・ 平成23年度より新学習指導要領が全面実施になるので、改訂のポイントをおさえた学習指導の進め方を研修の中に取り入れていただけたらよいと思う。
- ・ 外国語活動に関する研修
- ・ 情報機器の授業への導入など
- ・ 先輩教員等による学習、道徳等の研究実践から学ぶ研修
- ・ 学級活動や道徳の時間など、学級を作り上げていくための様々な方法等をもっと取り入れていただきたい。

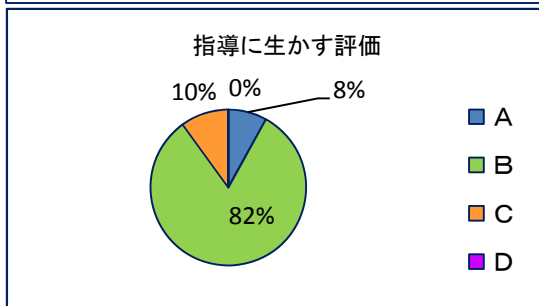
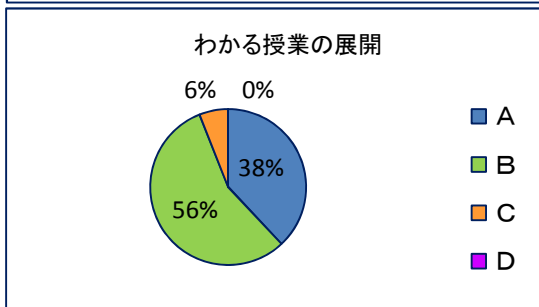
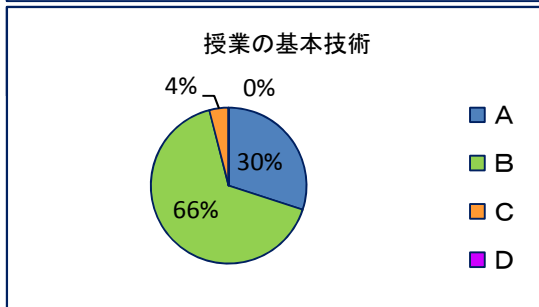
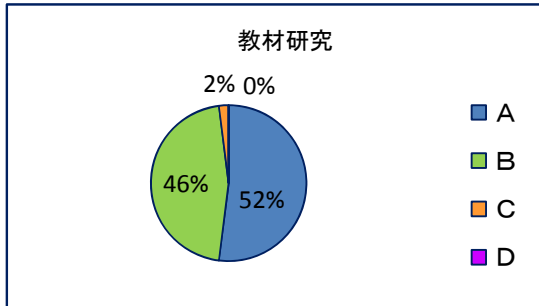
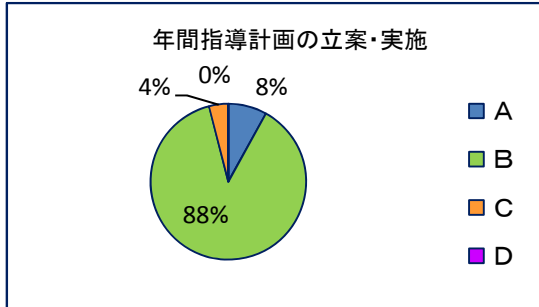
【アンケート結果 高等学校・特別支援学校】

1-1 研修教員が研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上したか。
 (回答者：校長、研修教員)

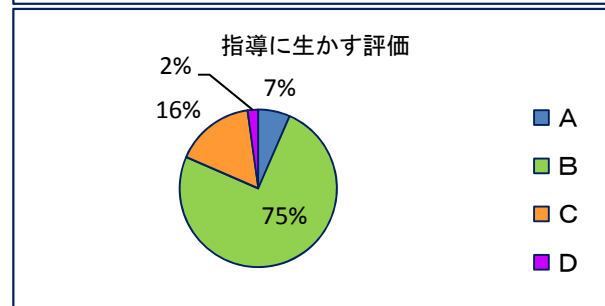
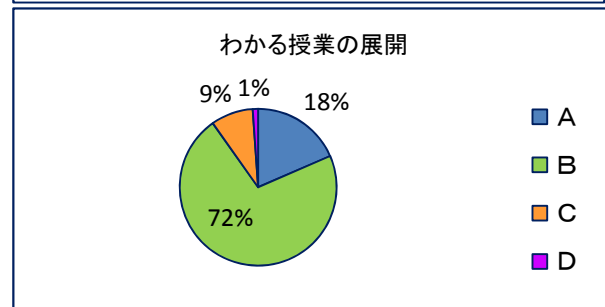
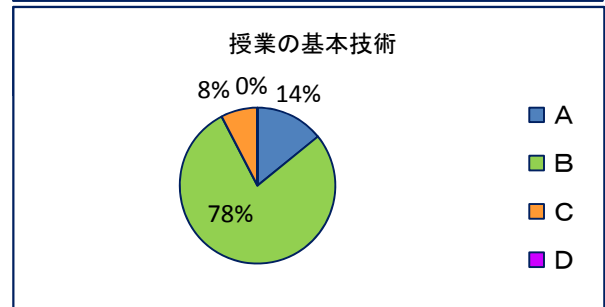
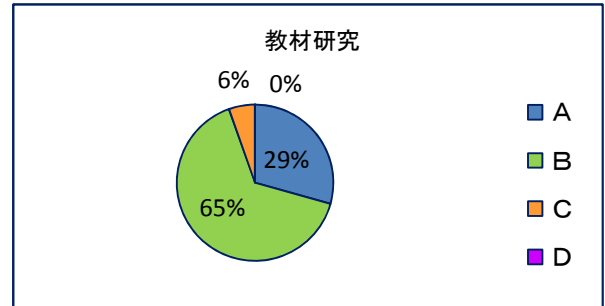
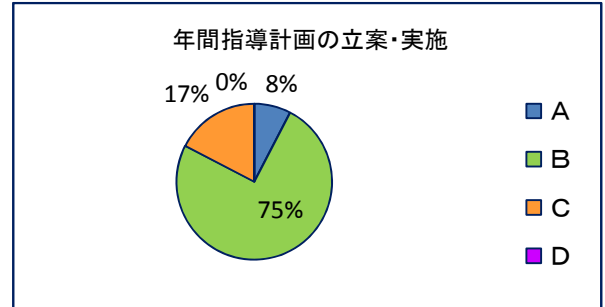
■ A かなり向上した ■ B ある程度向上した ■ C あまり向上していない ■ D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。

【校長】

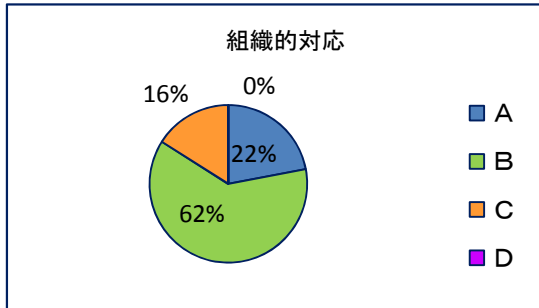
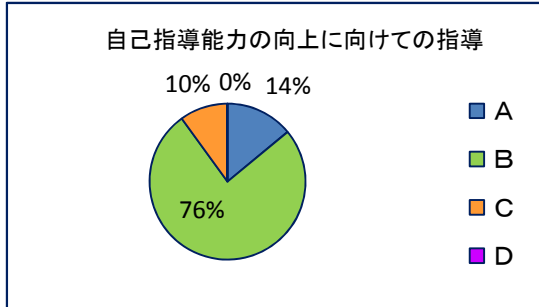
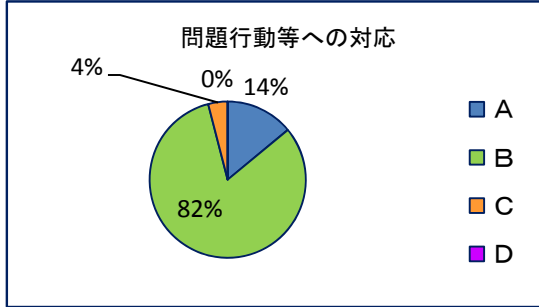
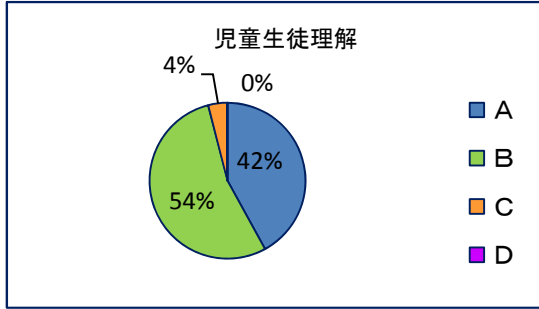
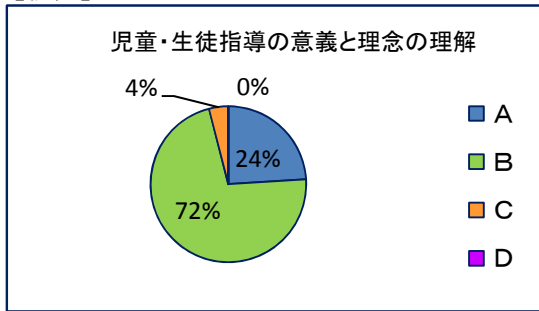


【研修教員】

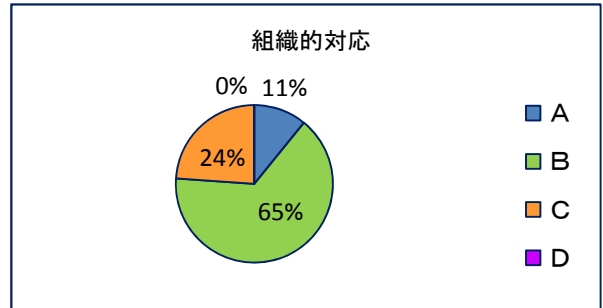
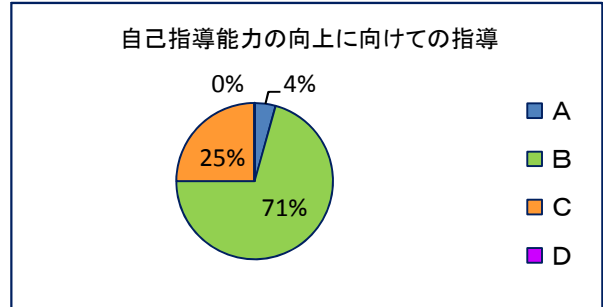
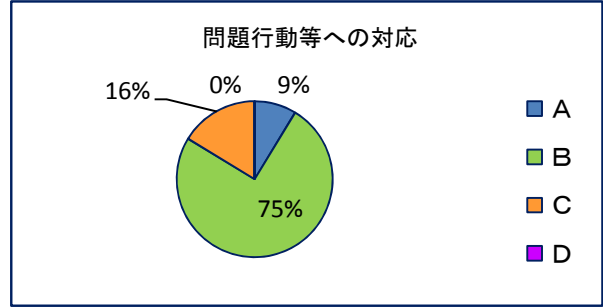
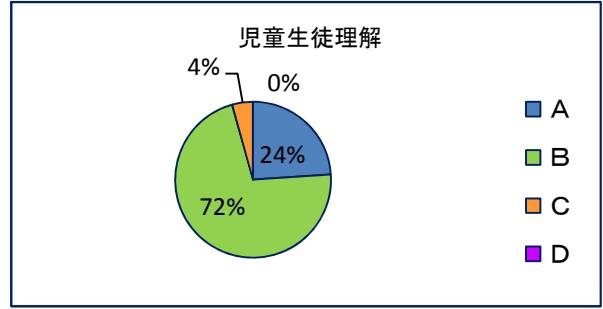
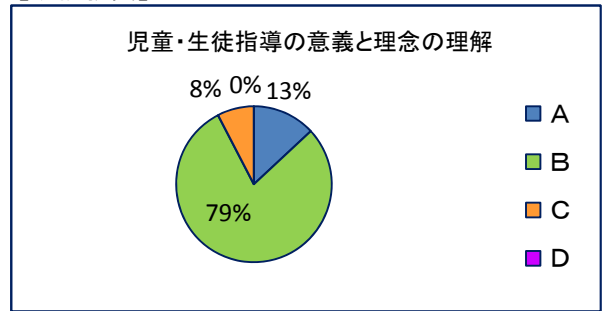


イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。

【校長】

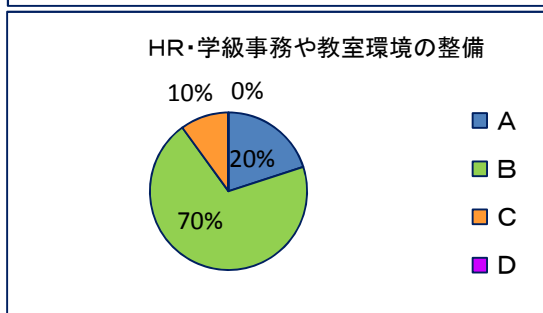
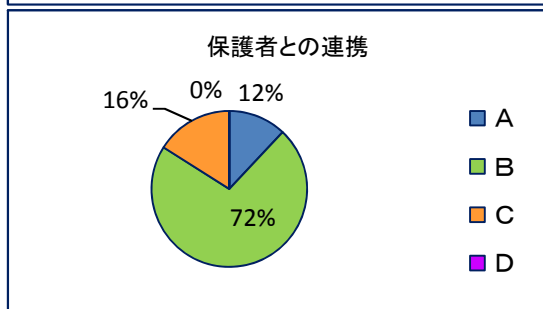
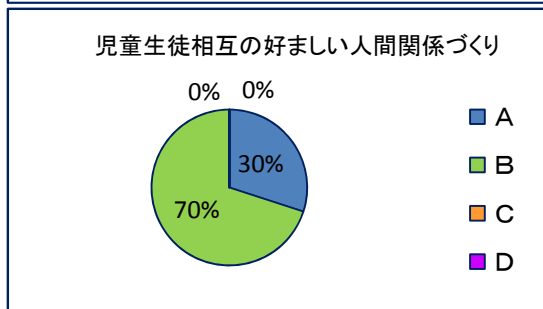
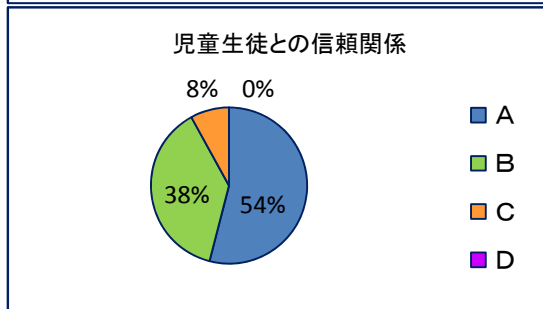
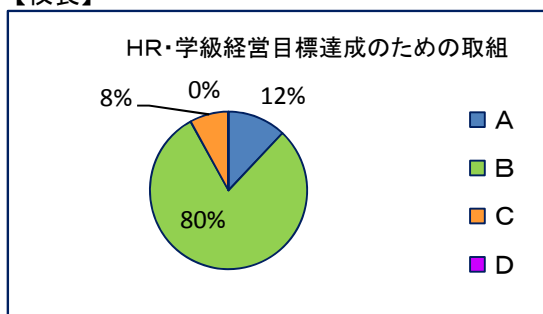


【研修教員】

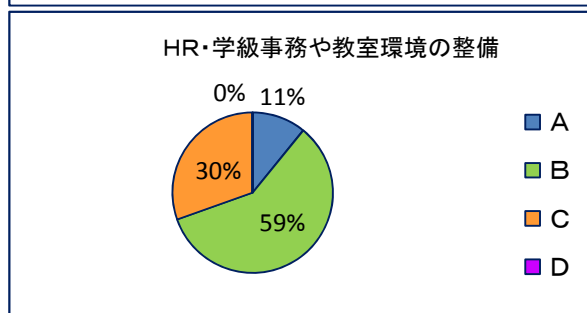
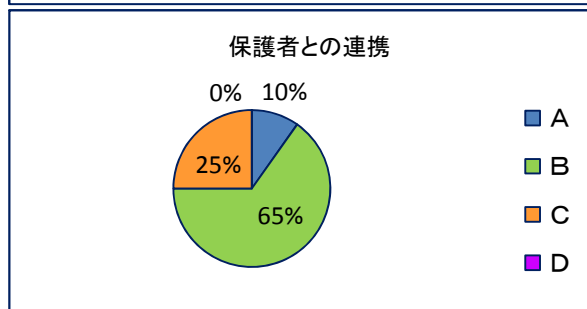
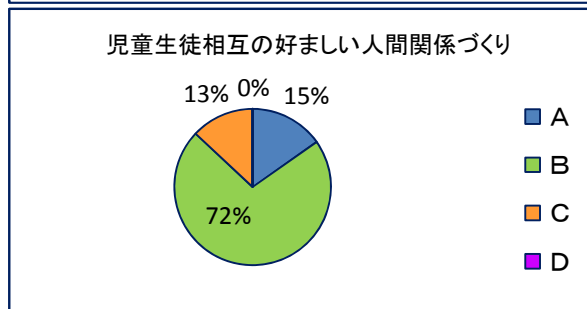
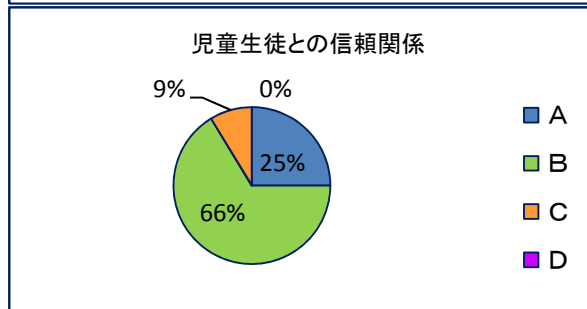
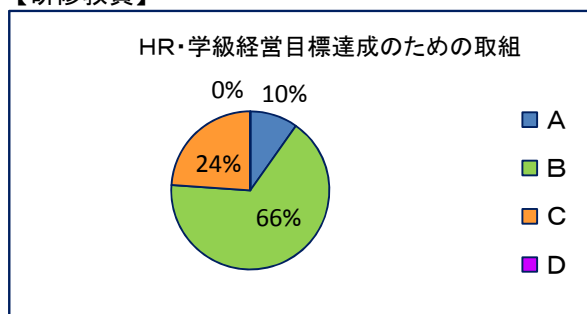


ウ 研修成果を生かし、HR・学級経営力が向上したか。

【校長】



【研修教員】



1-2 ア～ウの項目以外のことについての主な記述内容

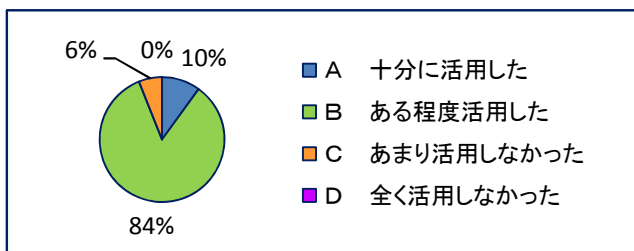
【校長】

- ・教職員との連携・協働の重要性を意識するようになった。
- ・教員が自らの適正や得意分野を再確認し、校務分掌の業務遂行にも役立っている。
- ・研修の成果として、生徒理解にある程度幅をもった対応ができるように感じられる。
- ・教育的情熱がスキル修得に結び付くようになった。
- ・進路指導への取組が、積極的によくやっているものと、もっと計画的に進めてもらいたいものがある。

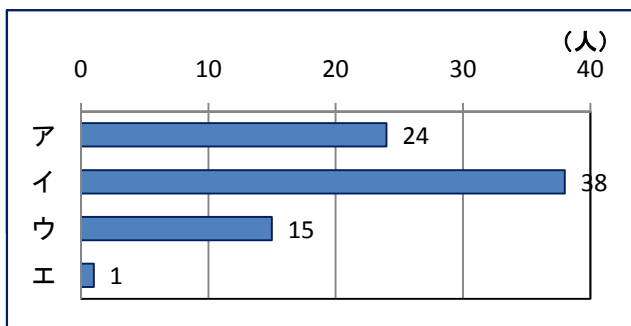
【研修教員】

- ・学校では同教科の教員が少ないこともあり、教科別分科会では貴重な情報交換ができた。
- ・自己研鑽の大切さを再認識させられた。

2-1 研修後評価をその後の指導や研修に活用したか。（回答者：校長）



2-2 活用したことでどんな効果があったか。（複数回答）（回答者：校長）



- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
- イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
- ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- エ その他

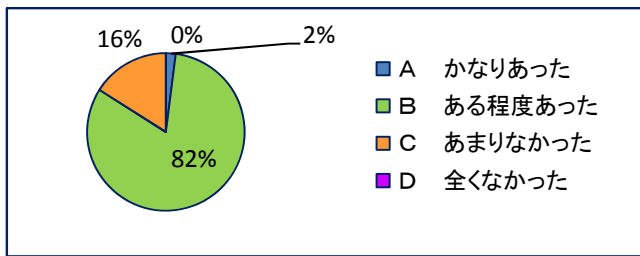
（「エ その他」の主な記述内容） 当初面談での意思の疎通がスムーズになり、行動規準表作成に活かした。

2-3 効果を高めるために特に工夫した点。（回答者：校長）

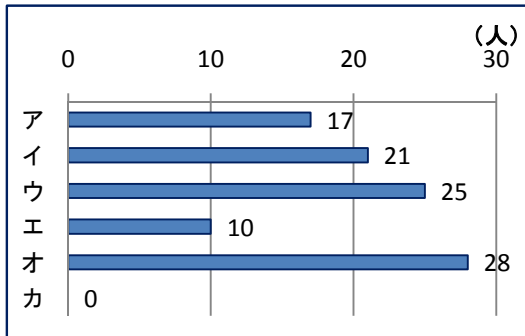
【主な記述内容】

- ・教職員評価の当初面談等に活用し、本年度の課題や目標を明確にできた。
- ・教員との対話を通じて、校内の諸課題について意見交換に努めた。

3-1 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響があったか。
 (回答者：校長)

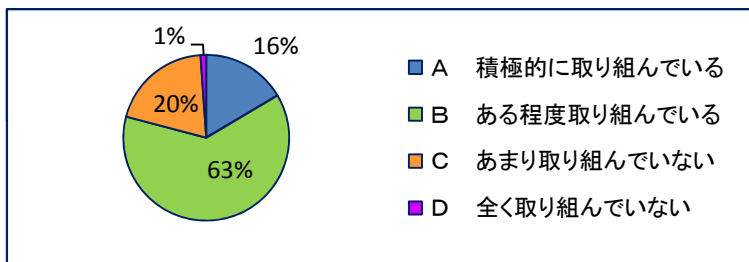


3-2 どんな効果や影響があったか。(複数回答) (回答者：校長)

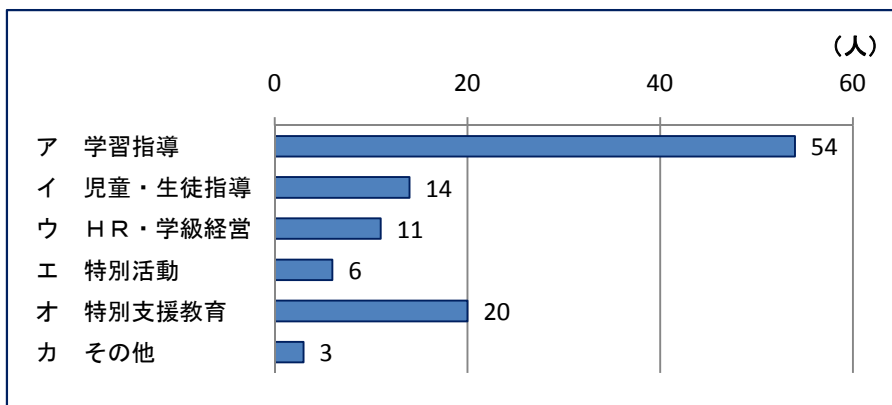


ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
 イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
 ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
 エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
 オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
 カ その他

4-1 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいるか。
 (回答者：研修教員)



4-2 どんな研修に取り組んでいるか。(複数回答) (回答者：研修教員)



(「カ その他」の主な記述内容) 資格取得 進路指導

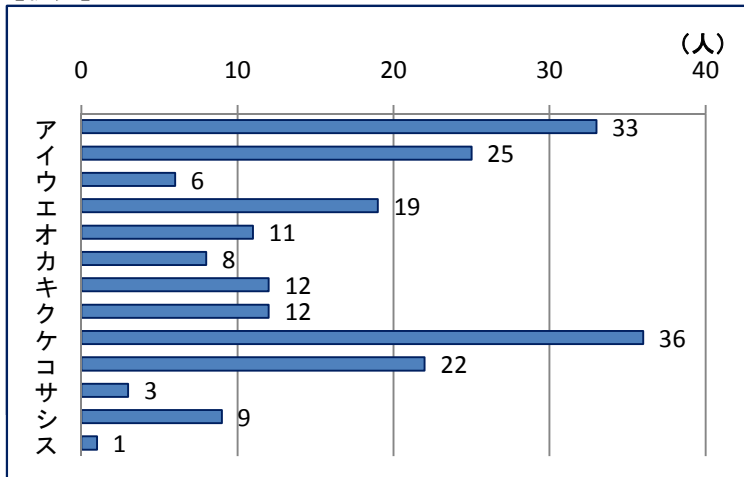
4-3 具体的にどのように進めているか。(回答者:研修教員)

【主な記述内容】

- ・ 年間指導計画の改善や教科指導法の研究をしている。
- ・ 生徒の状況を以前よりも個に応じてみるようになり、それに基づいて適切な指導するようになった。
- ・ 課題を自ら設定し、授業の内容を工夫しながら学習指導を進めている。
- ・ 様々な研修会に参加して、授業にいかせるスキルや指導法などについて研修している。
- ・ 最新の研究事例についてもよく調査しておき、必要に応じて授業に取り入れている。
- ・ 昨年度、課題研究で得た課題を解決するために、先輩教員の助言・指導を受けたり、他校の先生方との勉強会を行ったりしている。
- ・ 生徒の理解力や意欲を向上させるような教材研究を行っている。
- ・ 他教員との連携を図るよう心がけている。
- ・ 10年目研修で作成した報告書の内容を、さらに発展的な内容に応用できるように追加変更を行いながら自己研修している。
- ・ 校内で成果を発表したことにより、今年度も引き続き責任をもって実践にあたっている。

5-1 平成20年度の校内研修では、どのような研修が有効だったか。(複数回答)
(回答者:校長、研修教員)

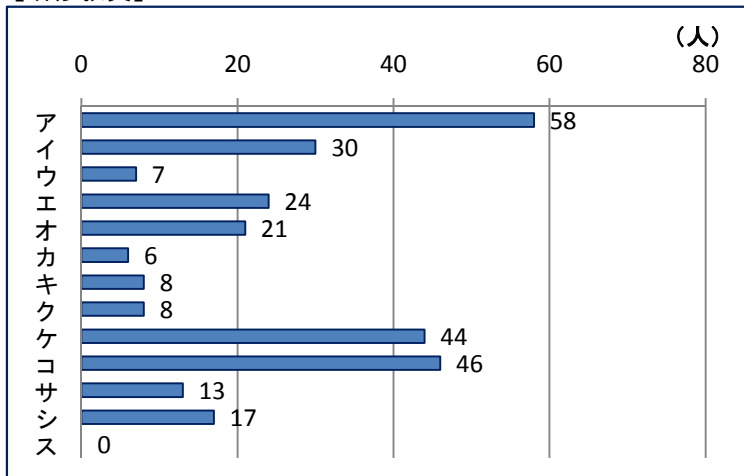
【校長】



- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

(「ス その他」の記述内容) 専門分野の研修

【研修教員】



- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

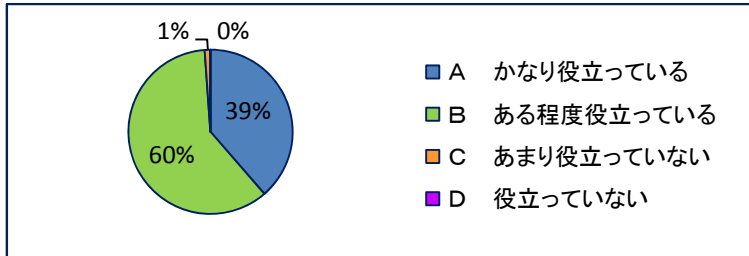
5-2 特に工夫した点。(回答者：校長)

【主な記述内容】

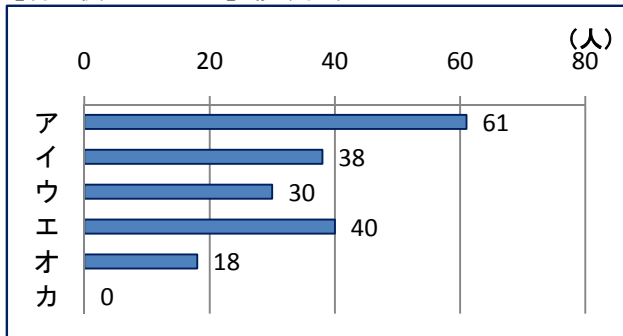
- ・公開授業では、他教科の教員も参観することで、相互に刺激となった。
- ・新学習指導要領に対する理解と教育課程の見直しについて、校長が講師となって校内研修を実施した。
- ・学校全体の課題研究と本人の課題研究を関連させて、授業研究会を行った。
- ・10年目研修は本人が問題意識をもった研修となったので、本年度の職務遂行に役立っていると思われる。

6 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立ったか。(回答者：研修教員)

(1) 学習指導に関する研修

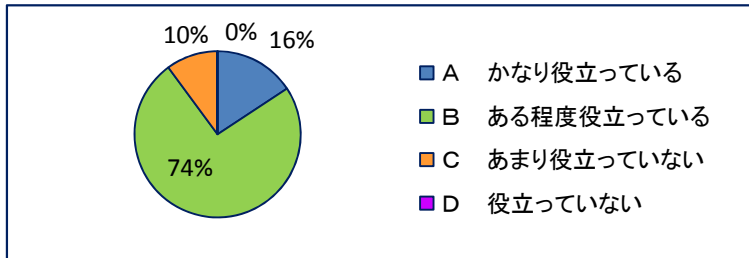


【特に役立ったもの】(複数回答)

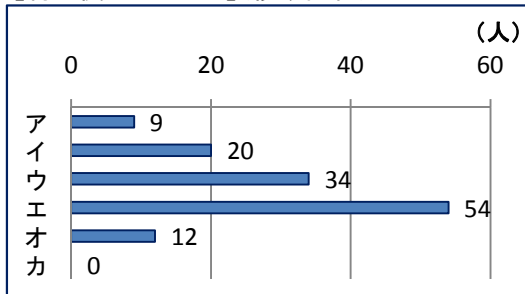


- ア 教科別分科会
- イ 公開授業A、授業研究会
- ウ ビデオによる授業研究
- エ 課題研究
- オ 児童・生徒等による授業評価
- カ その他

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修

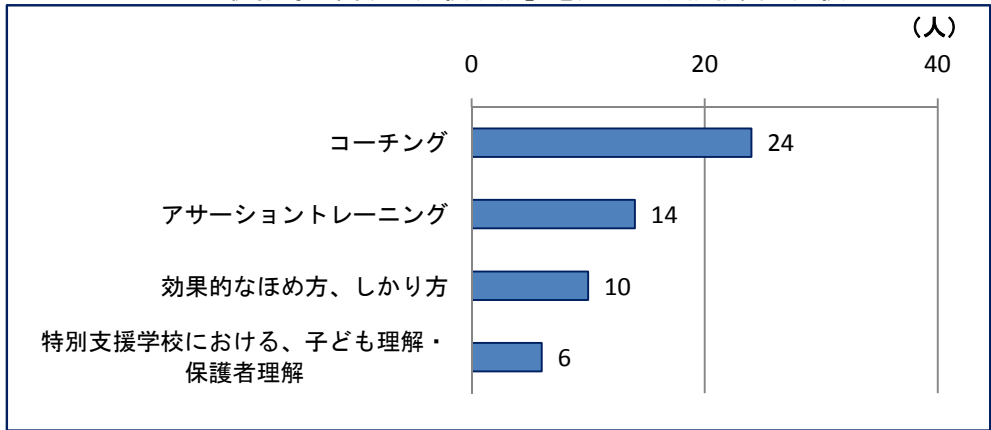


【特に役立ったもの】(複数回答)

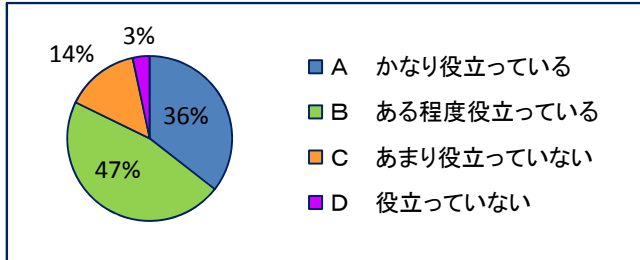


- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 講話「学校における児童生徒の理解」
- ウ 演習「児童生徒、保護者の理解～ロールプレイングを用いて～」
- エ 児童・生徒指導に関する選択研修
- オ 地域における児童・生徒指導の在り方
- カ その他

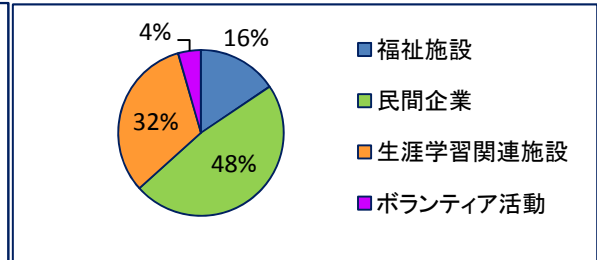
※「エ 児童・生徒指導に関する選択研修」を選んだ研修教員の選択したコース



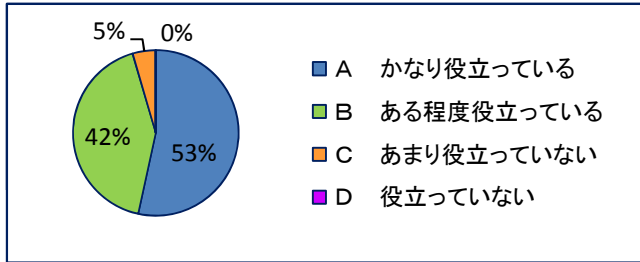
(3) 社会体験等研修



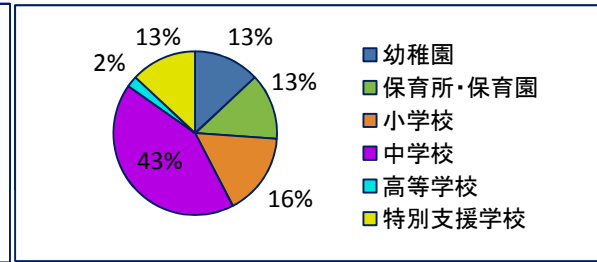
研修先



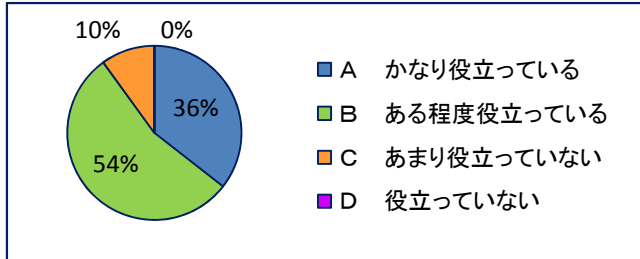
(4) 異校種体験研修



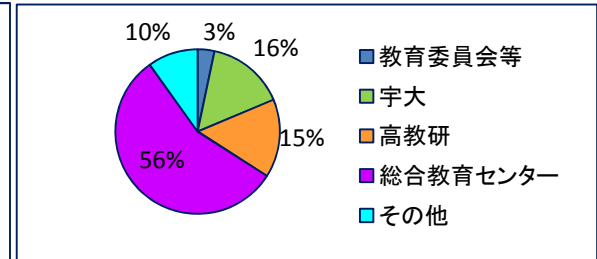
研修先の校種



(5) 選択研修



研修先



7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等。（主な記述内容）
（回答者：校長、研修教員）

【校長】

- ・ 授業研究等に関する研修においては、指導案作成や指導方法などについて遠慮なく厳しく指導していただきたい。
- ・ 教職員のメンタルヘルスに対して、教員の豊かな心や感性を育むような講座が位置付けられるとよい。
- ・ 危機管理や組織マネジメント研修は、経験年齢を問わずに幅広く実施するとよい。
- ・ 学校外での研修（社会体験・異校種体験等）のさらなる充実が期待される。
- ・ キャリア教育に関する研修および教育相談に関する研修を取り入れてほしい。

【研修教員】

- ・ 情報機器の活用研修
- ・ 保護者への対応について
- ・ 他県と同教科の教員との交流研究会
- ・ 教育相談について
- ・ 進路指導の実情について
- ・ 新しい内容を取り入れるだけでなく、「精選」の観点も必要である。
- ・ 社会体験研修で行った活動を、共有できる機会があればよかった。

終わりに、アンケートに御協力いただいた、関係各学校の校長先生並びに平成20年度研修教員の先生方、各教育事務所、各市町教育委員会に感謝申し上げます。

教職10年目研修 (小・中学校) 事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。(小学校 ・ 中学校)
 平成21年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

- 1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
 (1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
 A かなり向上した B ある程度向上した
 C あまり向上していない D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。	
観	・年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
	・教材研究 (A B C D)
点	・授業の基本技術 (A B C D)
	・わかる授業の展開 (A B C D)
	・指導に生かす評価 (A B C D)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。	
観	・児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	・児童生徒理解 (A B C D)
	・問題行動等への対応 (A B C D)
点	・自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	・組織的対応 (A B C D)
ウ 研修成果を生かし、学級経営力が向上しましたか。	
観	・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	・児童生徒との信頼関係 (A B C D)
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
点	・保護者との連携 (A B C D)
	・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

- (2) ア～ウの項目以外のことについては、 内にお書きください。

- 2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。
 (「平成20年度 教職10年目研修の手引」P.6参照)
 (1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
 A 十分に活用した B ある程度活用した
 C あまり活用しなかった D 全く活用しなかった

- (2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。
 活用したことでどんな効果がありましたか。以下のア～エの当てはまるものすべてを○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、 内にお書きください。

- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
 イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
 ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
 エ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A かなりあった B ある程度あった
C あまりなかった D 全くなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下のア～カの当てはまるものすべてを○を囲んでください。

- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
カ その他 ()

4 平成20年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを○で囲んで、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 教科(学習)指導に関する研修 | イ 児童・生徒指導に関する研修 |
| ウ 学校経営に関する研修 | エ 教育相談に関する研修 |
| オ 進路指導に関する研修 | カ 情報機器の活用等に関する研修 |
| キ 特別支援教育に関する研修 | ク 人権教育に関する研修 |
| ケ 公開授業と授業研究会 | コ 課題研究 |
| サ 先輩教員等による授業 | シ 管理職等の講話 |
| ス その他 () | |

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、市町村教育委員会へ送付してください。

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。（ 高等学校 ・ 特別支援学校 ）
- 平成21年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A かなり向上した B ある程度向上した
C あまり向上していない D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。	
観	・年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
	・教材研究 (A B C D)
点	・授業の基本技術 (A B C D)
	・わかる授業の展開 (A B C D)
	・指導に生かす評価 (A B C D)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。	
観	・児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	・児童生徒理解 (A B C D)
点	・問題行動等への対応 (A B C D)
	・自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	・組織的対応 (A B C D)
ウ 研修成果を生かし、HR・学級経営力が向上しましたか。	
観	・HR・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	・児童生徒との信頼関係 (A B C D)
点	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
	・保護者との連携 (A B C D)
	・HR・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

(2) ア～ウの項目以外のことについては、 内にお書きください。

2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。

(「平成20年度 教職10年目研修の手引」P.7参照)

(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A 十分に活用した B ある程度活用した
C あまり活用しなかった D 全く活用しなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

活用したことでどんな効果がありましたか。以下のア～エの当てはまるものすべてを○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、 内にお書きください。

- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
エ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A かなりあった B ある程度あった
C あまりなかった D 全くなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下のア～カの当てはまるものすべてを○を囲んでください。

- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
カ その他 ()

4 平成20年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを○で囲んで、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 教科(学習)指導に関する研修 | イ 児童・生徒指導に関する研修 |
| ウ 学校経営に関する研修 | エ 教育相談に関する研修 |
| オ 進路指導に関する研修 | カ 情報機器の活用等に関する研修 |
| キ 特別支援教育に関する研修 | ク 人権教育に関する研修 |
| ケ 公開授業と授業研究会 | コ 課題研究 |
| サ 先輩教員等による授業 | シ 管理職等の講話 |
| ス その他 () | |

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、総合教育センターへ送付してください。

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。（ 高等学校 ・ 特別支援学校 ）
- 平成21年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

- 1 研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
- (1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
- A かなり向上した B ある程度向上した
 C あまり向上していない D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。	
観 点	・年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
	・教材研究 (A B C D)
	・授業の基本技術 (A B C D)
	・わかる授業の展開 (A B C D)
	・指導に生かす評価 (A B C D)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。	
観 点	・児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	・児童生徒理解 (A B C D)
	・問題行動等への対応 (A B C D)
	・自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	・組織的対応 (A B C D)
ウ 研修成果を生かし、HR・学級経営力が向上しましたか。	
観 点	・HR・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	・児童生徒との信頼関係 (A B C D)
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
	・保護者との連携 (A B C D)
	・HR・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

- (2) ア～ウの項目以外のことについては、 内にお書きください。

- 2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。

- (1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
- A 積極的に取り組んでいる B ある程度取り組んでいる
 C あまり取り組んでいない D 全く取り組んでいない

- (2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。
 どんな研修に取り組んでいますか。以下のア～キの当てはまるものすべてを○で囲んでください。
 なお、どのように進めているのか 内に具体的にお書きください。

- ア 学習指導 イ 児童・生徒指導 ウ HR・学級経営 エ 特別活動
 オ 特別支援教育 カ その他 ()

